

技術審査証明1

技術名称 **VSL永久アンカー工法 (SP型)**

技術の詳細に関するURL <http://www.vsl-japan.co.jp>

技術の特徴・概要

VSL永久アンカー工法は、1958年スイスのロージ
ンガー社が開発した緊張定着システムであるVSL工
法を適用したグラウンドアンカー工法です。

SP型は従来のものと基本的な構造、使用材料、施
工法および耐久性は同一ですが、1本の注入パイプ
(Single Pipe) でコルゲートシースの内部・外部を
確実にグラウト注入できるシステムに改造し、コル

ゲートシースの径および削孔径の細径化により、コ
スト削減をはかったVSL永久アンカー工法です。

特徴はテンドン全長がフレキシブルなコルゲート
シースで被覆されています。そのため、化学腐食や
電気腐食などを防止し、長期にわたり、強度と耐久
性を維持します。

現地での施工状態や技術が活用されている図・写真、コメント等



インナーグラウト



アウターグラウト

実際に技術を適用して困った点、今後の改良課題等について

グラウト注入に際し、SP型では、グラウトアダ
プターおよびスリーブバルブを使用します。

今回、現場のさまざまな状況に対応するため、こ
の部分の改良を実施しました。

すなわち、グラウトアダプターは内かん合に加え

て、外かん合のものを作り、長さ変更に対応できる
ようにしました。また、スリーブバルブは注入パイ
プの内側にスリーブを差し込んでいたのを反対にし
て、断面欠損をなくし、グラウトがスムーズに流れ
るようにしました。

技術のPRポイント、得意とする現場条件や他工法と比較して有利な点など

VSL永久アンカーはコルゲートシースで覆われて
いるため、エポキシ被覆にくらべ、作業中に傷がつ
く心配はありません。また、地表面の凹凸に緊張余

長の範囲内で簡単に対応できます。さらに、迷走電
流が懸念される地盤でも心配ありません。